

コミュニティ・スクール 福岡東中学校

全体会CS推進構想とは

全体会では福岡東中コミュニティ・スクール(CS)推進構想の説明と、その柱であるEJC(ひがし中カレッジ・1学年の先生と地域人材との協働による総合的な学習の時間)および地域ボランティアの説明を行いました。

さらに地域ボランティアについては、参加した生徒を代表して5人の生徒会役員から説明を行い、参加したときの映像を交えながら、地域の活性化や地域の発展について考えたり発表したりしました。



▲6人の留学生をGTとして迎えた2年生の英語

かたから、ボランティアの様子についての話がありました。

参加者のアンケートでは「ボランティア活動の報告や地域の報告から、福岡東中学校の生徒が楽しみながらボランティア活動を頑張っている姿が見られ、とても良かったです」「CSは子どもたちにとっていいことだと思います。こういう内容を学校で取り組むことができ、今の子どもは恵まれているなと思います」などがありました。

公開授業・全授業でGT参加

これまで本校がCSとして地域をはじめ外部機関と築いてきた関係を生かし、弁護士・地域の農家・社会福祉団体・郷土カレッジ講師・大学教授など各分野での専門家をゲストティーチャー(GT)としてお招きしました。その結果、多彩なGT46人がそろい、1年生はEJCで、2・3年生は教科の学習で協力していただきました。

多くの大人の手で東中の生徒を育てるという視点からも、今回の公開授業では全クラス公開・全授業GT参加による授業を構成しました。

参加者のアンケートでは「子どもたちが積極的に活動に取り組む姿やGTの話が夢中になって聞く姿が素敵だなど思った」「GTに入ってもらったことで教師・生徒双方が刺激を受けて授業に活気をもたらしているのではないかと思った」「GTの豊富さに圧倒された」などの意見が多くありました。

今後の展望

本校の研究発表会で、市内3中学校のCSの成果の公開が一回りしました。いわば第1ステージが終わり、次年度から第2ステージが始まります。今回の本校の発表が、福岡市の中学生の幸せにつながり、地域と密着した中学校を愛し、地域に貢献し、20年後のこの郷土の活性化と発展に努める子どもたちの育成につながることを願っています。

コミュニティ・スクール 神興小学校

全体会・学びの共同体とは

本校は、平成23年度から「学びの共同体」を中核に据えたコミュニティ・スクール(CS)の実現に向けて取り組んで参りました。

「学びの共同体」としての学校とは、子どもだけが学び成長するのではなく、教師も学び、保護者や地域住民も学び成長する学校のことです。全体会では、この3年間の歩みを踏まえた推進構想を説明しました。



▲全体会では、コミュニティ・スクール構想を説明しました

公開授業Ⅰ:「学びの共同体型」参加型の授業

1・2・6年生は「学びの共同体型」の公開授業を、3・4・5年生は「参加型」の公開授業を行いました。全員で「学びの共同体型」の参観をしました。前半の学習で得られた「柱体の体積の求め方」をもとに、後半は発展課題を解いていきました。

家庭・地域分科会

家庭・地域分科会では、CS推進の中核となる学校運営協議会を参観していただきました。議題は「学校評価」と「聴く力を家庭・地域で育てる方策と連携について」の二つ。新宮東小学校校長の森先生から、地域・家庭・学校の三者のあり方、考え方について助言を頂きました。本校の運営協議会の今後の方向性を示していただいたと思います。

公開授業Ⅱ:ジャンプの課題

6年1組が体育館で授業を行い、全員で「学びの共同体型」の参観をしました。前半の学習で得られた「柱体の体積の求め方」をもとに、後半は発展課題を解いていきました。

授業づくり分科会

公開授業Ⅱをもとに、職員「学びを見ていただきました」。参観者からは「二つの授業を全体公開にしていたため、参観者みんなで共通理解した上で分科会(授業協議会)に参加できるようなっていたところが良かったと思う」「自分の授業でも、ジャンプの課題をもとに小集団で学び合い、全体で学び合う共同の場を設定した取り組みをやってみようと思った」という声も聞かれました。



▲6年生算数の公開授業。柱体の体積の求め方を、子どもが一生懸命考えて発表しました



▲6年生算数の公開授業。グループで図形の面積の求め方を考えました



▲3年生図工の「参加型」公開授業。保護者などと一緒に工作に取り組みました



▲福岡教育大学教授と大学生6人による3年生の理科



▲1年生のEJC: 総合トレーニングでのGT



▲地域ボランティアの説明をする生徒会役員



▲地域ボランティアの説明をする生徒会役員

コミュニティ・スクール 神興東小学校

全体会：CSのしくみ「なかみ」
全体会では、コミュニティ・スクール神興東の「しくみ」と「なかみ」を説明しました。地域運動会と文化祭をはじめとした、学校・家庭・地域の三者が知恵と汗を出し合いながら進めている主な取り組みを紹介しました。

公開授業：子どもの本気と大人の本気
地域のかたや保護者41人がゲストティーチャーとして迎えた公開授業を行いました。授業づくりのキーワードは「地域に学ぶ・地域を学ぶ・地域に返す」。地域のかたの言葉に目を輝かせ、笑顔で耳を傾ける子ども。



▲4年生の授業。地域のかたと知恵をしばります

ども。自分たちの思いやアイデアを地域のかたに真剣な表情でぶつける子ども。子どもの本気と大人の本気が響き合う場面がたくさん見られました。

分科会：部会ごとに情報共有
学校・家庭・地域の三部会に分けて行いました。

学校部会のテーマは「地域の人・もの・ことを活かした授業づくりのポイント」。本校の取り組みを説明し、その後六つのグループに分かれて本テーマの成果や課題について意見交換。授業づくりのポイントを共有しました。

家庭部会のテーマは「親と親がつながりながらすすめる子育て」。『生き生き親子クラブ』『防災教育』『子どもインタビューシップ』の3本の実践発表が行われ、その後、参加者全員で意見交換。明るく前を向いてPTA活動を進める大切さを共有しました。

ぐるみで子育てをすすめる楽しさとやりがい。『通学合宿』『子育て支援部会』『勝浦郷づくりの取り組み』の3本の実践発表が行われました。それぞれの実践に対して活発な質疑応答が続ぎ、地域色あふれる場となりました。少しの余力を地域活動に向けることの大切さについて共有しました。

参加者からは「教師自身が地域教材づくり、授業づくりの本気で向かい合うことが大切だと感じました」「大人が本気になれば必ずその分だけ子どもの笑顔で返ってくる実感できました」などの感想や意見が寄せられました。

「おやじの会」と「そだちカフェ」
研究発表会の開催にあたり、「おやじの会」の皆さんに焼きそばを、「そだちカフェスタッフ」の保護者の皆さんに飲み物とお菓子を振る舞っていただきました。「おやじの会」は主に地域の行事や文化祭で、「そだちカフェ」は、主に学校の日に活動していただいています。

大人と大人、保護者と保護者がつながり合って、楽しみながら子育てを進めていこうとする神興東小学校区の姿をお見せすることができたと思います。

コミュニティ・スクール 上西郷小学校

全体会：大人と子どもが語り合うワールドカフェ
学校、家庭、地域の大人と6年生を交えた総勢およそ100人でワールドカフェを開催。『大人の姿』をテーマに大いに盛り上がりました。

大人たちにとっては、子どもたちのさらなる可能性を見出すとともに自分自身を見つめ直す機会に、一方で子どもたちにとっては「自信」「信頼」「自己発見」につながる財産となったようです。

公開授業：日頃の授業を公開提案
日頃の「地域に学ぶ」「地域を活かす」「地域に貢献する」授業を公開しました。



▲ワールドカフェで他校の先生と語り合う6年生

【1年生】上西郷幼稚園と交流を続けている1年生は、幼い子への思いやりの心について考えました。園児や幼稚園の先生からのビデオレターを嬉しそうに見ている姿が印象的でした。

【2年生】校庭にそびえるクスノキは記念樹として植えられ、大切にされてきました。これをもとに道徳の自主教材を作成。上西郷出身の保護者からクスノキへの思いを聞くことで、シンボルツリーの歴史に関心を高めました。

【3年生】上西郷在住の建築技術を持つプロのかたを迎え、図工学習のゲストティーチャー（GT）として活躍していただきました。釘をリズミカルに打ちながら作品が仕上がっていく過程を見た子どもたちは「僕もやってみよう」と意欲満々。楽しい作品が仕上がっていました。

【4年生】地域にあるお祇園様池に住むアカハライモリが大好きな4年生に、イモリになり

きって詩を作る学習を仕組みました。教室を池の写真で埋め尽くし、イモリになりきって「つぶやく」「つぶやく」をもとに詩へ再構築する学習は、子どもたちにとって身近で楽しい学習となりました。

【5年生】上西郷地区の高齢化率は29.9%。この現状に対して何かできることはないか考える授業を行いました。事前に訪問した介護老人保健施設での交流を想起しながら民生委員の話聞くことで、自分たちができることをやっていこうという気持ちが高まりました。

【6年生】世界の子どものたちの現状を調べ、異文化理解などについて考えてきた子どもたち。地域在住のペルーのかたをGTとして迎え、クイズを通してペルーの文化を学び、交流会の計画を考えました。異文化に触れて「りかい」しあう大切さをさらに深めました。

【なのはな（特別支援学級）】人と関わる力を身に付けてもらおうと、おもてなしの場「サロン」を設定して授業を仕組みました。子どもたちは、お菓子のくじびきを通してやり取りを学習。飛び入りのお客さんを迎えることもでき、満足そうな様子でした。



▲学校部会。付箋紙を分類しながら授業づくりのポイントを協議しました



▲地域部会。実践発表内容について協議しました



▲家庭部会。親の役割と出番を協議しました



▲6年生の総合的な学習の時間「上小の愛を世界の子どもたちへ」異文化交流を学習に



▲2年生の道徳「町のたからもの」校庭のクスノキが題材



▲1年生の道徳「やさしいところで」、コンタになりきる子どもたち